

まえがき

この報告書は、本センター研究部長天野郁夫教授が中心となって組織された研究プロジェクト「国立大学における収支構造の総合的研究－日本及び諸外国の現状分析と将来課題」の研究成果報告書である。

これまで国立大学の財務構造の分析はあまり行われてこなかった。それは一つには、関係者が国立大学の財務を政府から与えられた所与のものとして受動的に受け止めてきたためであり、一つには、必要な資料、情報の入手が困難だったためであると思われる。

しかし、明年からの法人化後は、個々の国立大学法人が、それぞれ財務戦略を持ち財務運営に責任を負う立場に立つことになる。適切な財務運営は法人化された国立大学発展の基盤であり、そのためのよき指針づくりや参考資料の提供が強く求められるようになる。

天野教授が組織されたこの研究プロジェクトは、この重要分野についての最初の組織的取り組みであり、その先駆的意義はきわめて高く評価される。先駆的試みであるだけに、個々の論文の完成度にはばらつきも見られるが、この研究は当然法人化後の分析につながる性格のものであり、今後の展開を大いに期待したい。

依拠すべき資料、文献の不足等の悪条件を克服して成果を収められた研究者各位、調査研究にご協力下さった多くの皆様に深甚なる敬意と感謝の念を表する次第である。

平成15年12月

国立学校財務センター

所長 大崎 仁